

「地域自主組織」 によるまちづくり

島根県
雲南市
(うんなんし)



人口：41,898人（H25.3末）

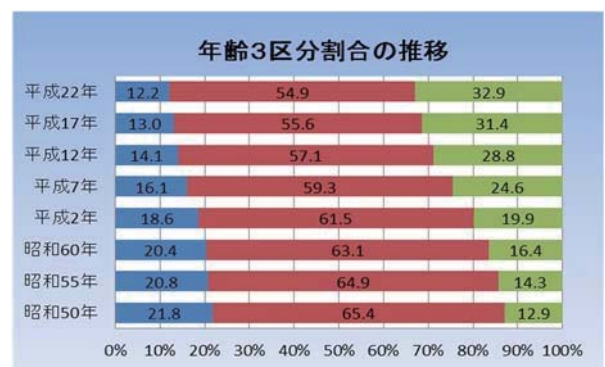
特徴：出雲神話の舞台としてヤマタノオロチ伝承地が各地にあり、神楽も盛んで、たたら製鉄の遺構もあるなど、悠久の歴史が息づいている。

雲南市では、高齢化が進行する中、女性や若者のまちづくりへの参加が課題となっていた。そこで、平成17年、おおむね小学校区単位で、自治会、女性の会、青年団、NPOなどにより「地域自主組織」の立ち上げを開始。

地域自主組織は、地域コミュニティビジネスや要援護者支援など、地域の課題に応じた地域密着型の共助社会の創出に寄与している。

女性や若者の参加促進

雲南市では、平成22年時点で高齢化率が32.9%となるなど、高齢化が進行しており、今後の人口推計においても減少が見込まれている。人口減による地域の崩壊を防ぐために、雲南市発足直後の平成17年、世帯主ばかりでなく女性や若者も含めた住民一人ひとりが参加できるような仕組みとして「地域自主組織」の立ち上げを開始した。



※ 青：0～14歳、赤：15～64歳、緑：65歳以上

地域自主組織の活動

地域自主組織は、おおむね小学校区単位で、自治会、女性の会、青年団、NPOなどにより、平成19年までに市内全地区で設立された。

設立準備段階では、市は、住民一人ひとりの力を発揮していくために、新たに地域自主組織が必要であることを積極的に説明するとともに、設立補助金や市職員派遣による支援も行った。



設立に向けたワークショップ

地域自主組織により、農家レストランや産直市場の運営などのコミュニティビジネス、神楽・太鼓などの伝統文化芸能の継承が行われ、地域住民が積極的にまちづくりに参加している。

このほか、地域自主組織が市から水道検針事業を受託し、毎月の水道検針時に地域の全世帯に声掛けをする安心安全見守り活動や、要援護者がキッズ携帯を、地域自主組織の役員が親機を持ち、24時間いつでも連絡を受け付ける要援護者24時間SOS対応など、地域での助け合いも活発化している。

活動の活発化に伴い、平成22年度からは、公民館を交流センターに移行し、地域自主組織の活動拠点として活用できる施設とした。



中野の里づくり委員会が運営する「笑んがわ市」



地域自主組織 日登の郷が運営する農家レストラン

自治力の向上

地域自主組織が市内全域に整ったことにより、住民の自治力が強くなり協働のまちづくりのパートナーをつくることができた。

これにより、様々な課題について、住民と行政が対等に、より専門的に協議する体制も整い、平成25年度からは地域円卓会議を導入し、様々な課題の解決に向けて対等な立場で協議を重ねている。

また、住民が積極的にまちづくりに参加することで、公平・一律のサービスを基本とする行政では対応しづらい、地域の課題に応じた地域密着型の共助社会の創出につながっている。



地域円卓会議の開催状況

地方分権改革との関連

地域の過疎化・高齢化が進む中、「地域自主組織」の設立と活動を通じて、地域と行政が協働により、当事者意識を持ちやすい関係性を構築したことが、住民自治の拡充、総力によるまちづくりにつながっている。

関係者からのメッセージ



組織とその活動拠点を整え、一定の財源を交付することにより、創意工夫の多様な活動が生まれています。住民による自治力の凄さに驚き、行政が学ぶことは数多くあると日々実感しています。横展開可能な仕組みとして、全国での導入を推奨します。

(雲南市政策企画部地域振興課
板持 周治氏)